

2026 年度 デザイン科学基礎講座

M メソッド講習会

～今の AI には難しい「意味づけ」から、新たな価値や感動を創り出す

1. 講座の趣旨

AI が普及する中、人間が得意なこと、人間しかできないことは何だとお考えですか？本講座では、まず、創造行為において、現在の AI が得意なこと、人でなければできないことを、デザイン科学を用いて解説します。

その上で、現時点において AI には難しいことの 1 つである「意味づけ」に注目します。「意味づけ」には、人の想いが反映されています。その「意味づけ」から、新たな価値や感動を創り出す M メソッドを、デザイン・設計への適用事例をまじえながら、わかりやすく紹介していきます。

2. 講座の内容

M メソッドは、経営、企画、デザイン、設計、研究、さらには、一般の生活においても利用できる新たな思考メソッドです。このメソッドは、人間あるいは社会にとっての「意味」を思考の中心におき、具体的なアイデアや価値、さらに感動を生み出す手法です。本講座では、以下を通じて、M メソッドをわかりやすく紹介していきます。

(1) 創造の思考原理

「人はなぜ創造できるのか?」。これは、デザイン科学の長きにわたる難問でした。しかし、近年、漸く、その思考原理が少しずつ分かってきました。ここでは、AGE 思考モデルと呼ばれる、創造に向けた思考の一般原理をわかりやすく紹介します。

(2) 人間と AI の思考比較

AI の成長が著しいことは、ご存じのとおりです。では、今の AI と人間では、どちらがどのような思考を得意としているのでしょうか。ここでは、上記の AGE 思考に基づいて、わかりやすく解説するとともに、人間あるいは社会にとっての「意味づけ」は、未だ人間でなければ難しいことをお話していきます。

(3) 「意味」を中心に置く M メソッド

M メソッドの狙いと効果、その手順を、事例をまじえながら紹介します。また、M メソッドにおいて重要な「場」の概念についても解説し、その「場」を用いて、新たな価値を生む創造のコツについてもお話しします。さらに、遠隔での共創を容易とする M メソッドシステムの紹介を行います。

(4) 感動を生む M メソッド

人なぜ、感動するのか？そのメカニズムが近年分かってきました。ここでは、そのメカニズムとその応用法を紹介するとともに、それを M メソッドに応用した手法についても、事例とともに紹介していきます。

3. 講師：

松岡由幸

慶應義塾大学 名誉教授

デザイン塾 主宰

日産でスカイライン、セフィーロ、

ローレル等を開発。日本デザイン学

会会長、イリノイ工科大学デザイン研究所客員フェロー、

経産省デザイン政策検討会委員など歴任。



井関大介

東京造形大学 准教授

日立製作所、ソニーで VAIO や医療

機器など多くのデザインに従事。

本講座では、その実務経験を活かし

て講義する。



4. 実施方法：Zoom によるオンライン

5. 日時：2026 年 7 月 22 日 (水) 9:00-12:00

6. 参加費：(テキスト代と郵送料 8,520 円を含みます。)

学会員 (共催学会)：9,000 円

非会員：18,000 円

学生：5,000 円

7. テキスト：下記をご指定の住所に送付いたします。

書籍『M メソッド』、『Design Science』

8. 申込み先：下記 forms にて、お願いします。

<https://forms.gle/ByxCVTAt9EuU79ep6>

締切り：2026 年 7 月 8 日 (水)

9. 問合せ先：デザイン塾事務局

E-mail: mlabsec@googlegroups.com

